

第 19 回総務経済常任委員会会議記録

開 閉 会 日 時	令和 5 年 3 月 6 日 (月曜)		午後 1 時 3 0 分 開会	
	休 憩 13:42-14:00、14:22-14:35、			
	午後 3 時 1 3 分 閉会			
	休憩時間：0 時間 2 1 分		会議時間：1 時間 2 2 分	
会議場所	役場 3 階委員会室			
出席委員 氏 名	委員長	鈴木 健充	委員	中村 和宏
	副委員長	中田智恵子	委員	立川 美穂
	委員	寺町 平一	委員	梶澤 幸治
			議長	早苗 豊
説明員				
参考人				
欠 席 委 員 氏 名				
事務局職員	総務係長	佐藤 史彦	総務係主査	上田 瑞紀
<p>『会議に付した事件と会議結果など』</p> <p>1 開 会</p> <p style="padding-left: 20px;">委員長が開会を告げ、事務局から本日の委員会の日程を説明する。</p> <p>2 議 件</p> <p>(1) 調査事項</p> <p>ア 令和 4 年度総務経済常任委員会の抽出事業について 当日資料 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長：抽出事業の総括及び評価を決定したい。正副案を示す。 ・委員長：意見・質疑はないか？ ・立川委員：設置条例に触れる記載を加えるべき。 ・梶澤委員：指定管理者制度への町の考えが重要。制度の目的に沿って進んでいるか、経費の節減ができていくかなどを議会としても検証していくべきとの内容があったほうが良い。 ・中田委員：町民が期待する改革になるかを注視したい。経営の正常化を目指すものであるべき。文言整理が必要。 ・梶澤委員：指定管理者制度、指定管理者制度導入の目的が反映されているか検証するとしたほうが良い。 ・立川委員：指摘のとおり修正してよい。 ・委員長：修正については正副一任でよろしいか。 <p>(異議なし)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長：修正し決定する。 				

- ・委員長：進捗工程表の評価について意見・質疑はないか？
 - ・中田委員：概ね達成、完了でよい。
 - ・立川委員：進行管理が完了でよいか。任期は終わるが次に引き継ぐため継続でもよいのではないか。
 - ・梶澤委員：任期が変わっても重要課題は継続する体制づくりが必要。委員会の取り組みが完了であるか、目標達成までで完了なのか。継続が良い。
 - ・寺町委員：委員会として完了というとならぬ方がよい。次期まで縛ることはできない。
 - ・中村委員：完了と考える。次期への引継ぎは大切であるが、備考欄への記載で十分である。
 - ・立川委員：HOPS インターンから前期の引継ぎができていないとの指摘もある。
 - ・寺町委員：今の委員会が2年間テーマをもって進めてきたもの。次の抽出事業は次期が考えるべきもの。
 - ・梶澤委員：次年度抽出事業とならなかった場合には、備考に記載した内容であっても進められないことを危惧する。
 - ・委員長：概ね達成、完了と評価する。なお、課題は備考欄への記載により次期へ引き継ぐものとする。
- (異議なし)
- ・委員長：決定する。
 - ・委員長：以上で調査事項「ア」を終了する。

イ 町民との意見交換会（市街地町内会連合会）について 当日資料2

- ・委員長：意見交換会の総括を行う。
 - ・委員長：意見・質疑はないか？
 - ・立川委員：世代間の考え方が変わり加入者は減少傾向にある。執行機関が考えなければならぬ。議会としても学ぶ機会があるとよい。
 - ・中田委員：今後の調査資料として活用していくものとし、総括報告には資料としてこの内容を掲載してはどうか。
 - ・委員長：意見を踏まえて総括報告のまとめを正副に一任願う。
- (異議なし)
- ・委員長：決定する。
 - ・委員長：以上で調査事項「イ」を終了する。

ウ 議会報告と町民との意見交換会の対応について 当日資料3

- ・委員長：総務経済常任委員会所管の意見について対応を協議する。
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・寺町委員：プレミアム商品券は町民に好評であったとの感触を受けている。
- ・立川委員：対象を限定した場合は利用実績が低かった。意見は参考として伺うとうことでよい。
- ・委員長：支援策については、灯油代補助も合わせて継続調査していくとまとめる。

- ・委員長：町政全般について意見・質疑はないか？
- ・立川委員：担当課に確認して答えられるものもある。意見をくれた方の背景がわからない。町のツールを教えればよいのか。他の意見についても貴重な意見をありがとうございますとの回答でよいのではないか。
- ・梶澤委員：広報公聴の拡充については、改善に向けて議会も取り組んでいくとの回答でいかがか。
- ・委員長：いただいた意見をもとに今後も調査を行っていくとまとめる。
- ・委員長：以上で調査事項「ウ」を終了する。

3 その他

(1) 次回委員会の開催日程について
正副委員長一任

(2) その他

- ・委員長：「その他」で各委員からないか？
 - ・立川委員：抽出事業は政策形成サイクルに沿って進めてきたが、提言が必要ではないか。また、総括報告書はどのように取り扱われるのか。
 - ・中田委員：課題を2点にまとめた総括報告書があり、提言書は不要。
 - ・立川委員：課題がまとまったからこそ提言が必要ではないか。
 - ・中村委員：検証していくべき課題が総括されたもの。提言書は不要。
 - ・寺町委員：提言書の扱いは以前も議論し、不要とされている。
 - ・梶澤委員：総括部分が重要なもの。今後も継続して調査をすべきものであり、現時点での提言は不要。活発な調査、政策討論会を経て提言に結び付けていくことが必要。
 - ・委員長：提言書は不要とまとめる。総括に沿って今後も調査していくことになる。
 - ・立川委員：総括を報告する場はあるか。
 - ・委員長：次回全員協議会で報告となる。公表される。
 - ・委員長：議長からないか？
 - ・(なし)
 - ・委員長：事務局からないか？
 - ・(なし)
- 以上で総務経済常任委員会を終了する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	0名	議員	0名	合計	0名
------	-----	----	-------	----	----	----	----	----

令和5年3月6日

総務経済常任委員会委員長 鈴木健充